

大学祭のクラス展示

～あそびのポケット～

2年生運営委員

〈A チューターグループ〉

●わなげ

私たちは、ペットボトルやサランラップの芯を使ってわなげをしました。輪は、子どもたちが安全に楽しめるように、新聞紙を細くしてわっかにしたものにビニールテープを巻いて作りました。この遊びは、子どもたちが1回につき5個の輪を投げることができるようにしました。3個以上輪を入れることができたなら、ハロウィンにちなんでキャンディーを3つプレゼントしました。3個以下でも、遊んでくれた子どもたち全員にキャンディーを1つずつプレゼントしました。

工夫した点は、看板を大きなカボチャの形にしたり、輪を入れる芯にもハロウィンの絵を貼ったりして、子どもたちが興味を持てるようにしたところです。また、輪が入りやすいように土台に傾斜をつけたり、子どもたちの年齢に合わせて投げる位置を変えてビニールテープで線を引いたりして、どの年齢の子どもでも楽しめるようにと考えました。

反省点は、自分たちが年齢ごとに設定していた線からだを入れるのが難しい子どもたちもいたことです。特に3歳以下の子は土台のすぐそばまで近づかないと輪を入れるのが難しそうだったため、その点をもう少し考えておけばよかったなと思いました。

しかし、子どもたちは輪がうまく入るとすごく喜んでくれて、楽しんでいる様子でした。「楽しかった。もう1回する」と言って何度も遊びに来てくれた子や、設定していた線よりも後ろから挑戦してくれた子もいました。何個入

れることができるか勝負したりと、私たちも一緒に楽しむことができたし、たくさんの子どもの笑顔を見ることができてよかったです。



〈B チューターグループ〉

●ストラックアウト

私たちは、ダンボールに大きく穴を作り、そこに新聞紙で作ったボールを投げ入れるストラックアウトを作りました。線を引き、そこから5回投げてもらいました。子どもたちが見て楽しめるように、ただ段ボールに穴を開けるだけでなく、動物の絵を描き穴を動物の口に見立てました。

工夫した点は、段ボールを斜めに傾け、ボールを入りやすくしたことです。

反省点は、ボールを強く投げてしまう子もいて、段ボールが壊れてしまったことです。補強をしっかりとっておけばと思いました。

しかし、子どもたちが「どの動物に入れよかな？」を楽しんでいる姿を見ることができたので、私たちも楽しみながら子どもたちと関わ

ることができました。



〈Cチューターグループ〉

●ボールプール

私たちは、子どもが投げたり転がしたりして自由に遊べるように、ボールプールを用意しました。ボールは、1枚の半分のサイズの新聞紙を丸めて、ビニールテープで貼りました。プールはダンボールで大きさを決め、周りに折り紙や花を使って、飾りつけをしました。プールがずれないようにガムテープで固定しました。

当日は、子どもとボールの感触を味わったり、ボールをかけ合ったりして楽しむことができました。保護者の方ともいろいろなお話しをする



ことができました。

ボールプールに興味があるものの、入るのを億劫にしている子どもを何度か見かけました。一人で入るのは少し勇気がいるみたいで、保護者の方も一緒に入れるくらいの大きさにすべきだったと感じました。ボールを投げたり、ボールに埋もれてみたりと子どもによって遊び方は様々でした。

とても楽しんでくれたように思います。

〈Dチューターグループ〉

●宝探し

私たちが考えたのは、宝探しです。段ボールで作ったプールの中に新聞紙をちぎったものを入れ、宝の箱を探す遊びです。箱の中には色のついた松ぼっくりを入れて5種類の色分けをしました。色によって得点を変え、その得点によってお菓子のつかみ取りの回数を決めました。

当日は、新聞紙をかき分け、一生懸命に宝箱を探す子どもの姿が見られました。

反省する点は、2日目のお菓子の準備不足です。直前になって調達という形になってしまいました。また、段ボールのプールの強度を強くし、子どもたちがのびのびと遊べるような環境構成ができたらいと思いました。

子どもたちからは「もう1回!」「またやりたい!」などの声が聞け、とても楽しそうでした。私たちもその様子を見て、うれしい気持ちになりました。



〈Eチューターグループ〉

●さかなつり

私たちが考えたのは、ダンボールハウスの中に紙で作った様々な魚や、時には空き缶や長ぐつを入れて子どもたちに好きなものを釣ってもらおうという遊びです。魚の形に切り取った紙にクリップをつけ、釣りざおには磁石をつけて釣りやすいように工夫しました。鶴時間に制限をすると、子どもたちや兄弟で競い合い楽しそうに遊んでいました。遊んでくれた子どもたちには手作りのぬり絵をプレゼントしました。

保護者の方も子どもたちに声をかけながら楽しまれており、「この釣った魚を入れる入れ物、上手に作ってるね」なども言っていました。魚を釣った時の子どもたちの表情が嬉しそうで、「この魚見たことある」などと魚の名前も言ってくれ、こちらも嬉しい気分になりました。

反省点は、魚釣りコーナーを端の方に設けていたため、人が来づらかったということです。また周りの飾りも少し乏しく、もっと見ただけで楽しくなるような飾りの工夫をするべきでした。それと保護者の方から、使っていたクリップがカラクリップなので磁石とくっつきにくいのでは、という意見をいただきました。確かに試してみると、カラクリップがくっつきにくいことが分かり、もっとシミュレーションしておくべきでした。



〈Fチューターグループ〉

●射的

私たちは、射的をしました。子どもたちが楽しめるように、的をハートや星の形にしました。また、鉄砲も割り箸で作って、子どもたちが興味を持てるようにしました。打つ場所も、どこから打つと一番楽しめるか吟味して決めました。

当日は、たくさん子どもたちが来てくれて射的を楽しんでくれました。割り箸で作った鉄砲の作り方を教えてほしいと言ってくれる子どももいて、興味を持ってくれたと思います。私たちは、子どもたちが出来たという達成感を味わえるよう、回数を決めずに、的に当てることができるまで、挑戦できるように配慮しました。

反省点は、用意していた輪ゴムが少なく、少し子どもを待たせてしまったことと、割り箸鉄砲の作り方を聞かれたときに、すぐに対応できなかったことです。作り方を書いたプリントを用意すれば良かったと思いました。

反省点も多々ありましたが、子どもたちが楽しんでくれていたので、私たちも嬉しかったです。



〈Gチューターグループ〉

●キーホルダーづくり

私たちは、プラスチックの板を用意し、そこに絵をかいてオーブンで焼くとキーホルダーになるというものを用意しました。丸に好きな絵を描けるようにしたものや、あらかじめくまやウサギ、車などの形に切って模様や顔を描ける

ようなものを用意しました。

イメージしやすいようにと、私たちが作ったものを用意し、ディズニーやアンパンマンなどなぞれる下絵を用意し、いろいろなデザインでかわいいものができるよう工夫しました。

反省点は、幼児さんになぞるという作業はちょっと難しかったところ、何個か形が悪くなってしまったことです。なぞる物を用意せず、子どもたちの好きな絵を描いてもらうようにすればよかったのかなと感じました。あとは、リボンなど材料もたくさん用意しておくべきでした。

すごく難しそうにはしていたけど、保護者の方と楽しそうに作業していてキーホルダーが出来上がるととても嬉しそうにしていました。そんな姿を見て私たちも、嬉しかったです。



〈Hチューターグループ〉

●ボウリング

ボウリングのピンは、ペットボトルにマジックでカラフルに色を付けたり、カラーテープで

色付けをしました。大、中、小のペットボトルを使い、ポイント制にすることで、子どもが興味を持って遊べるようにしました。

ピンを倒した合計点が15点以上の子どもには、アンパンマンメダルのプレゼントをしました。

反省点としては、アンパンマンメダルが途中で足りなくなってしまったので、たくさん用意しておくべきだったと思いました。

子どもたちの様子は、何回も投げて遊んでいて、全部倒すまで頑張っている姿も見ることができました。また、ピンを自分でオリジナルの形にたて、遊びを発展させている様子もうかがえました。

子どもの笑顔を見ることができ、私たちも楽しむことができました。

